

2019年5月31日

株 主 各 位

東京都千代田区富士見2丁目13番3号
カ ド カ ワ 株 式 会 社
代表取締役社長 松 原 眞 樹

第5期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第5期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申し上げます。

なお、当日ご出席いただけない場合は、書面又はインターネット等により議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討くださいます。同封の議決権行使書用紙に議案の賛否をご表示いただき、同封の保護シールをお貼りのうえ、2019年6月19日（水曜日）の午後6時30分までに到着するようご返送くださるか、45頁の「インターネット等による議決権行使のご案内」をご高覧のうえ、2019年6月19日（水曜日）の午後6時30分までに、議案の賛否をご入力くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日 時 2019年6月20日（木曜日）午前10時
（受付開始は午前9時を予定しております。）
2. 場 所 東京都文京区関口二丁目10番8号
ホテル椿山荘東京 バンケット棟（プラザ棟）5階
「グランドホール椿（オリオン）」
（末尾記載の株主総会会場ご案内図をご参照ください。）
3. 目的事項
報告事項
 1. 第5期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）
事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の
連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第5期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）
計算書類報告の件

決議事項

- | | |
|-------|----------------|
| 第1号議案 | 定款一部変更の件 |
| 第2号議案 | 取締役12名選任の件 |
| 第3号議案 | 監査役1名選任の件 |
| 第4号議案 | 監査役の報酬等の額の改定の件 |

招集ご通知

事業報告

計算書類等

監査報告書

株主総会参考書類

4. 招集に当たっての決定事項

- (1) 議決権行使書面において、各議案に賛否の表示がない場合は、賛成の意思表示をされたものとして取り扱わせていただきます。
- (2) 複数回にわたり行使された場合の議決権の取り扱い
 - ① 書面とインターネット等により、重複して議決権を行使された場合は、インターネット等による議決権行使の内容を有効として取り扱わせていただきます。
 - ② インターネット等により複数回にわたり議決権を行使された場合は、最後に行使された内容を有効とさせていただきます。また、パソコン、スマートフォンで重複して議決権を行使された場合も、最後に行使された内容を有効とさせていただきます。

以 上

~~~~~  
◎本招集ご通知に際して提供すべき書類のうち、次の事項につきましては、法令及び定款第14条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト(<https://info.kadokawadwango.co.jp/ir/stock.html>)に掲載しておりますので、本招集ご通知の提供書面には記載しておりません。

- 1. 連結計算書類の連結注記表
- 2. 計算書類の個別注記表

なお、これらの注記表は、会計監査人が会計監査報告書を監査役が監査報告を作成するに際して監査を実施した連結計算書類又は計算書類の一部であります。

◎当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。また、資源節約のため、本招集ご通知をご持参くださいますようお願い申し上げます。

◎株主総会参考書類並びに事業報告、計算書類及び連結計算書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト(<https://info.kadokawadwango.co.jp/ir/stock.html>)に掲載させていただきます。

◎管理信託銀行等の名義株主様（常任代理人様を含みます。）につきましては、(株)東京証券取引所等により設立された合弁会社(株)ICJが運営する議決権電子行使プラットフォームの利用を事前に申し込まれた場合には、当社株主総会における電磁的方法による議決権行使の方法として、インターネットによる議決権行使以外に、当該プラットフォームをご利用いただくことができます。

〔当日は、当社では軽装（フールビズ）にてご対応させていただきますので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。株主の皆さまにおかれましても軽装にてご出席くださいますようお願い申し上げます。〕

(提供書面)

## 事業報告

( 2018年4月1日から  
2019年3月31日まで )

### 1. 企業集団の現況

#### (1) 事業の経過及び成果

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、コンテンツの価値を高めるプラットフォームとしての飛躍を期し、総合メディア企業(株)KADOKAWAのIP創出力と、IT企業(株)ダウンゴの創造性を結集しながら、魅力あるコンテンツを国内外の様々なメディアにマルチ展開させて収益を最大化させるメディアミックス戦略を積極展開しております。

当連結会計年度における各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

出版事業の売上高は1,159億58百万円（前年同期比2.9%増）、セグメント利益（営業利益）は72億53百万円（前年同期比20.9%増）となりました。出版事業の収益構成は、電子書籍・電子雑誌販売、書籍・雑誌販売、権利販売、海外拠点売上等により多様化している中、主に電子書籍・電子雑誌販売が牽引し、業績は好調に推移しております。

電子書籍・電子雑誌では、当社グループの総合電子書籍ストア「BOOK☆WALKER」の8周年キャンペーンなどの施策で販売が引き続き好調に推移しており、外販事業においても、当連結会計年度より新たな外部電子書籍ストアに許諾を開始し、販売を加速させております。また、9月には「ニコニコ書籍」アプリと「BOOK☆WALKER」アプリを統合しました。それにより、MAU（月間アクティブユーザー）が底上げされるとともに、作品の品揃えが拡大し、1ユーザーあたりの購入金額が上昇しております。グローバル戦略を推し進めるため2015年10月にグランドオープンした「BOOK☆WALKER Global」や2016年2月にオープンした「台湾BOOK☆WALKER」も高い成長を維持しております。

書籍では、コミックスの「よつばと！（14）」「ダンジョン飯（6）」「乙嫁語り（11）」といった大型作品や「盾の勇者の成り上がり」「オーバーロード」「Fate」シリーズが好調に推移しております。ライトノベルは、「ソードアート・オンライン」「魔法科高校の劣等生」「この素晴らしい世界に祝福を！」といった人気シリーズが引き続き堅調に推移している一方、市場が停滞している中で新たなヒットシリーズの創出、育成にも注力しております。一般書は、「トラベジウム」、学習まんが「日本の歴史」や「どっちが強い！？」が収益貢献しました。一般文庫は、「ラプラスの魔女」「君は月夜に光り輝く」「ビブリア古書堂の事件手帖」「未来のミライ」といった映画化作品の原作本や「過ぎ去りし王国の城」が好調に推移しております。また、権利販売では主に遊技機向けの商品化許諾が収益貢献しました。出版物はメディアミックス展開の重要な源泉の一つであり、ヒット作創出のため年間5,000点の新刊を継続的に

招集  
通知

事業  
報告

計算  
書類等

監査  
報告書

株主  
総会  
参考  
書類

発行してまいります。なお、2020年度からフル稼働を予定している最新鋭の製造・物流拠点においては、工場建設やシステム整備等がスケジュール通り順調に進捗しており、一部の文庫やライトノベルにおいて、デジタル印刷による商業生産を開始しました。

雑誌では、地域情報誌「Walker」シリーズ、ライフスタイル誌「レタスクラブ」等でWebメディアとの連動によるビジネスモデルの転換を進めており、Webメディアのページビューや広告収入の増加等の成果につなげてまいります。テレビ情報メディア「ザテレビジョン」については、お正月特大号の販売や「ザテレビジョンWeb」が好調に推移しました。刊行計画や発行部数の見直し等で雑誌販売は減少しておりますが、実売率の改善により収支は好転の兆しを見せております。

映像・ゲーム事業の売上高は482億95百万円（前年同期比1.8%増）、セグメント利益（営業利益）は39億19百万円（前年同期比36.3%増）となりました。

映像では、「STEINS;GATEゼロ」「殺戮の天使」「やがて君になる」等の海外ライセンス販売が収益に貢献いたしました。また、アニメの配信収入や「Re:ゼロから始める異世界生活」等の商品化許諾による収益貢献があり、国内外問わず豊富なIPを活用したビジネス展開を拡大させております。(株)ムービーウォーカーの展開するデジタル映画前売券サービス「ムビチケ」も好調に推移し収益貢献しております。

ゲームでは、3月発売の「SEKIRO: SHADOWS DIE TWICE」が大変好調に推移し、利益拡大に大きく貢献しました。また、「DARK SOULS REMASTERED」が国内外で引き続き好調に推移し、パッケージ販売だけでなく、海外ロイヤリティ収入も収益貢献しました。「METAL MAX Xeno」「コナン アウトキャスト」等のパッケージゲーム、歴代「アーマード・コア」シリーズのBGMを収録したCD集「ARMORED CORE ORIGINAL SOUNDTRACK 20th ANNIVERSARY BOX」、2015年3月発売の「Bloodborne」や2016年3月発売の「DARK SOULS Ⅲ」の海外ロイヤリティ収入も引き続き好調でした。

一方、(株)ドワンゴが11月に提供開始した位置情報ゲームアプリ「テクテクテクテク」においては、収益貢献が期待値を大幅に下回ったことから、アプリ開発費を一括費用化するとともに、2019年6月でサービス終了することいたしました。

Webサービス事業の売上高は258億48百万円（前年同期比10.9%減）、セグメント損失（営業損失）は25億76百万円（前年同期 営業損失10億67百万円）となりました。

ポータルでは、日本最大級の動画プラットフォームである「niconico」における「ニコニコプレミアム会員」のサービス収入を柱とし、ウェブサイト上のバナー等の広告、有料動画等の関連収益を計上しております。「niconico」においては、回線の増強や画質の向上を中心とした動画・生放送サービスの視聴環境改善を進め、新バージョン（く）（読み方：クレッシェンド）や、新しい生放送アプリ「nicocas」の提供などを行ってきましたが、「ニコニコプレミアム会員」は減少傾向が続いており、当連結会計年度末には180万人となりました。

11月には「テクテクテクテク」、12月には“人工生命”の観察・育成アプリ「ARTILIFE」を提供開始しました。「テクテクテクテク」は、アプリ提供開始直後から積極的なプロモーション

ン等を行いユーザー数の拡大に努めてきましたが、想定を大きく下回ったことが減益要因となりました。

また、事業見直し・事業撤退にかかる費用を計上したことも減益要因となりました。

ライブでは、競合する他の動画サービスとの差別化を図るべく、「ネットとリアルとの融合」をテーマに各種ライブイベントの企画・運営、ライブハウス「ニコファーレ」の運営等を行っております。4月に開催した「ニコニコ超会議2018」の2日間の会場来場者数は過去最高の16万1,277人を記録、インターネット視聴者数は612万1,170人となりました。8月に開催した世界最大のアニソライブ「Animelo Summer Live 2018 “OK!”」は3日間で8万1千人を集め、収益貢献しました。

モバイルでは、シングル楽曲/着うた®等の配信を行う総合エンタテインメントサイト「dwango.jp（ドワンゴ ジェイピー）」や、アニメ総合ポータルサイト「animelo」からの収益を計上しております。有料会員数は減少しておりますが、引き続き、外注費や広告宣伝費等の固定費削減に努めており、収益性を維持しております。

その他事業の売上高は221億43百万円（前年同期比6.3%増）、セグメント損失（営業損失）は26億13百万円（前年同期 営業損失13億56百万円）となりました。

その他事業では、ネットとリアルを融合させた双方向性を特長とする教育プログラムの提供や、クリエイティブ分野で活躍する人材を国内外で育成するスクール運営を行う教育事業、キャラクター商品の企画・制作・販売やアイドルCDのeコマース等のMD（物販）事業を行っております。また、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年を収益化の目途としているインバウンド事業の準備費用が計上されております。

これらの結果、当連結会計年度における業績は、売上高2,086億5百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益27億7百万円（前年同期比13.9%減）、経常利益42億5百万円（前年同期比13.2%増）となりました。なお、連結子会社である㈱ドワンゴ等において、固定資産の減損損失41億74百万円を特別損失に計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純損失40億85百万円（前年同期 親会社株主に帰属する当期純利益10億38百万円）となりました。

なお、株主還元の充実及び資本効率の向上を図るため、2018年5月10日開催の臨時取締役会において2018年9月28日までを対象期間、2,600千株、30億円をそれぞれ上限とする自己株式の取得を決議したことに伴い、2,562,600株、2,999,951,100円の取得を完了しました。

## (2) 設備投資の状況

### ① 設備投資の概要

当連結会計年度において実施いたしました当社グループの設備投資の総額は、133億38百万円であり、その事業別の主な内容は次のとおりであります。

| 事業区分      | 金額       | 主 内 容                           |
|-----------|----------|---------------------------------|
| 出版事業      | 1,737百万円 | 自社電子書籍サイトの機能拡張、書籍の製造に関するシステム開発等 |
| 映像・ゲーム事業  | 516      | 開発用機材の購入、ムビチケ機能拡張のシステム開発等       |
| Webサービス事業 | 1,753    | 動画コミュニティサービスのサーバ強化、新規システム開発費用等  |
| その他       | 1,058    | レストラン事業用設備、教育事業のスクール運営設備等       |
| 全社（共通）    | 8,272    | ところざわサクラタウン建築工事及び社内システム開発等      |
| 合計        | 13,338   |                                 |

（注）設備投資の金額には、有形固定資産のほか無形固定資産のうちソフトウェア及びソフトウェア仮勘定を含めております。

### ② 当連結会計年度において継続中の主要設備の新設（2019年3月31日現在）

連結子会社(株)KADOKAWAにおいて、書籍の製造・物流拠点の建設（投資予定額246億円）、所沢キャンパス（投資予定額64億円）及び新規事業施設（投資予定額89億円）の建設を計画しており、2018年2月に着工いたしました。

投資予定総額399億円に対し、書籍の製造設備及び建物等取得にかかる手付金等、既支払額は186億9百万円であります。

## (3) 資金調達の状況

当社は、市場金利の状況を考慮し、割安な長期運転資金を安定的に確保することを目的として、複数の取引銀行より合計150億円の調達を行い、金融機関からの既存の借入（総額100億円、2019年3月期日）の期限前一括返済を実施しました。

#### (4) 対処すべき課題

当社グループの事業領域におけるマーケット環境について見渡しますと、紙の出版市場は縮小している一方で、電子書籍市場は継続的に拡大しております。また、高速通信網の整備によるスマートフォンをはじめとした各種デバイスの急速な普及に伴い、ネットワークエンタテインメント市場も拡大しており、メディアを取り巻く環境は世界的に大きな変化を続けております。このような環境下、当社グループは、コンテンツ創造力を継続的に成長させ、そこから生まれる潤沢で強力なIPをより多くのお客様に対して様々なメディアを駆使して展開することで、複数の事業領域を横断するビジネスを推進し、収益最大化を目指してまいります。

今般、当社は、IP事業力の強化、ガバナンスの強化、経営の一層の効率化のため、吸収分割により7月1日をもって㈱KADOKAWAの全ての事業を当社に移管し、当社を事業持株会社化することを決定いたしました。

それに先立ち、㈱KADOKAWAは上記の世界的な変化に対応し機動的な事業展開を行うために、この4月から6本部体制に再編するとともに、エンジニアリング子会社として「㈱KADOKAWA Connected」を新設しグループのICT人材を集約いたしました。今後、新設本部であるDX戦略本部と㈱KADOKAWA Connectedを中心に、コンテンツやサービスだけでなく、ユーザー基盤、組織コミュニケーション基盤、製造・物流基盤においてもデジタルトランスフォーメーションを進め、経営スピードを高めてまいります。

事業別の状況並びに課題は以下のとおりであります。

##### ① 出版事業

引き続き強力なIPの創出に努め、メディアミックス戦略の強化と返品率のさらなる改善を推進いたします。IP創出においては、ベテラン作家や人気作家の作品に加えて、小説投稿サイト「カクヨム」等を通じ、ネットでの原作発掘及び新人作家の育成強化に取り組んでまいります。

返品率の改善につきましては、2020年度のフル稼働を目指して製造・物流を一体とした最新鋭のデジタル設備を導入し、書籍の受注から迅速な製造・発送までを一体で行う最適な生産プロセス、物流システムを構築いたします。一部のジャンルにおいては、デジタル印刷機を先行導入し商業生産を開始いたしました。今後、小ロット・適時製造・適時配送を本格稼働させることで、印刷費用や資材費用等の直接原価を削減し、業界が直面している物流問題にも対処しながら、返品率を改善することで利益率向上を図ります。加えて、海外拠点及びその協力会社との連携により、デジタルと紙の多言語サイマル出版やメディアミックスの多国同時展開を推進してまいります。

電子書籍では、電子書籍点数の増加や独自の付加価値戦略等の拡販施策に積極的に取り組むとともに、海外向け配信を強化することで、「BOOK☆WALKER」の高い収益成長率を維持してまいります。

雑誌では、Webメディアを取り込んだビジネスモデルの転換を進めており、収益の多軸化等の抜本的な構造改革を引き続き推進してまいります。

## ② 映像・ゲーム事業

映像につきましては、書籍やゲームから生み出される豊富なグループIPの映像化、映像作品発のIP創出、実写映画及びアニメ作品の制作、配給を行い、今後ますます市場の拡大が期待される映像配信にも積極的に取り組んでまいります。また、海外市場における権利販売の強化にも取り組んでまいります。

ゲームにつきましては、オリジナルのパッケージゲームソフトの企画・開発・販売を主に、据置型ゲーム機や携帯型ゲーム機、スマートフォン向け等、プラットフォームの多様化や高機能化、ユーザーニーズの多様化等の市場環境に順応していくため、当社グループにおける経営資源の配分を最適化し、競争力、ブランド力を高めるべく、機動的な事業戦略を遂行してまいります。

## ③ Webサービス事業

Webサービス事業では、斬新なアイデアや高いネットワーク技術力による他にはない魅力あるサービス・コンテンツを提供いたします。

ポータルでは、「niconico」における“選択と集中”の加速による収益構造の改善と、「ニコニコチャンネル」におけるコンテンツの拡充によるチャンネル有料会員数の増加を図ってまいります。

ライブでは、日本最大級のユーザー主体のネット発イベント「ニコニコ超会議」や世界最大のアニソンライブ「Animelo Summer Live」を軸に、ユーザーの満足度向上に努めるとともに、各イベントの収益構造の更なる改善に取り組んでまいります。

モバイルでは、新たなサービス・コンテンツの提供を進め、着うた®や着うたフル®等を中心に人気楽曲の獲得や「niconico」発のコンテンツ等を揃え差別化を図るとともに、コストコントロールを行い、高い利益率を維持しながら継続的な利益創出ができるように取り組んでまいります。

## ④ その他事業

その他事業では、2020年度のところざわサクラタウンのオープンに向けてインバウンド事業の準備に引き続き取り組むほか、収益事業の一つとして堅調に成長しつつある教育事業の更なる拡大を目指しております。少子化やインターネットの普及等によって教育の在り方は大きく変化しており、時代にあった多様な教育を提供するために、ネットとリアルを融合させた双方向型教育プログラムのコンテンツ増強や、クリエイティブ分野の人材育成スクールの事業規模拡大に取り組んでまいります。

## (5) 財産及び損益の状況

### ① 企業集団の財産及び損益の状況

| 区 分                                                    | 第 2 期<br>(2016年 3 月期) | 第 3 期<br>(2017年 3 月期) | 第 4 期<br>(2018年 3 月期) | 第 5 期<br>(2019年 3 月期) |
|--------------------------------------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 売 上 高 (百万円)                                            | 200,945               | 205,717               | 206,785               | 208,605               |
| 経 常 利 益 (百万円)                                          | 10,189                | 7,407                 | 3,716                 | 4,205                 |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益又は親会社<br>株主に帰属する当期純<br>損失 (△) (百万円) | 6,845                 | 5,767                 | 1,038                 | △4,085                |
| 1株当たり当期純利益<br>又は1株当たり当期純<br>損失 (△) (円)                 | 99.12                 | 85.03                 | 15.53                 | △63.94                |
| 総 資 産 (百万円)                                            | 201,609               | 246,949               | 239,881               | 240,072               |
| 純 資 産 (百万円)                                            | 104,526               | 111,724               | 109,128               | 103,411               |
| 1株当たり純資産 (円)                                           | 1,529.43              | 1,620.10              | 1,629.37              | 1,602.08              |

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を第5期連結会計年度の期首から適用しており、第4期連結会計年度の総資産については、当該会計基準を遡って適用した後の金額となっております。

### ② 当社の財産及び損益の状況

| 区 分                                    | 第 2 期<br>(2016年 3 月期) | 第 3 期<br>(2017年 3 月期) | 第 4 期<br>(2018年 3 月期) | 第 5 期<br>(2019年 3 月期) |
|----------------------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 営業収益又は売上高 (百万円)                        | 8,985                 | 8,815                 | 6,855                 | 5,738                 |
| 経 常 利 益 又 は<br>経 常 損 失 ( △ ) (百万円)     | △584                  | △335                  | 1,635                 | 1,591                 |
| 当 期 純 利 益 又 は<br>当 期 純 損 失 ( △ ) (百万円) | △744                  | △312                  | 1,643                 | △17,681               |
| 1株当たり当期純利益<br>又は1株当たり当期純<br>損失 (△) (円) | △10.77                | △4.61                 | 24.38                 | △273.96               |
| 総 資 産 (百万円)                            | 96,695                | 110,564               | 107,674               | 89,788                |
| 純 資 産 (百万円)                            | 83,266                | 81,678                | 80,336                | 57,532                |
| 1株当たり純資産 (円)                           | 1,228.30              | 1,203.98              | 1,208.83              | 909.52                |

(注) 1. 第2期事業年度において、2015年4月1日付で連結子会社(株)KADOKAWAの一部事業を会社分割により承継し、純粋持株会社から事業持株会社へ移行しております。  
2. 第4期事業年度において、2017年7月3日付で当社の一部事業を会社分割により新設した連結子会社(株)Gzブレインに承継させ、事業持株会社から純粋持株会社へ移行しております。

## (6) 重要な子会社の状況

| 会 社 名                           | 資 本 金           | 当 社 の<br>出 資 比 率 | 主 要 な 事 業 内 容              |
|---------------------------------|-----------------|------------------|----------------------------|
| (株) K A D O K A W A             | 29,210百万円       | 100.0%           | 出版事業、<br>映像・ゲーム事業、その他      |
| (株) ド ワ ン ゴ                     | 100             | 100.0            | Webサービス事業、その他              |
| (株) ブ ッ ク ウ ォ ー カ ー             | 100             | 100.0            | 出版事業                       |
| (株) ビルディング・ブックセンター              | 100             | 100.0            | 出版事業                       |
| (株) 角 川 ア ス キ ー 総 合 研 究 所       | 85              | 100.0            | 出版事業                       |
| (株) 角 川 メ デ ィ ア ハ ウ ス           | 100             | 100.0            | 出版事業                       |
| (株) 毎 日 が 発 見                   | 100             | 80.0             | 出版事業                       |
| (株) 角 川 大 映 ス タ ジ オ             | 100             | 100.0            | 映像・ゲーム事業                   |
| グ ロ ー ビ ジ ョ ン (株)               | 30              | 100.0            | 映像・ゲーム事業                   |
| (株) ム ー ビ ー ウ ォ ー カ ー           | 100             | 87.9             | 映像・ゲーム事業                   |
| (株) フ ロ ム ・ ソ フ ト ウ ェ ア         | 268             | 100.0            | 映像・ゲーム事業                   |
| (株) 角 川 ゲ ー ム ス                 | 335             | 82.6             | 映像・ゲーム事業                   |
| (株) ス パ イ ク ・ チ ュ ン ソ フ ト       | 480             | 100.0            | 映像・ゲーム事業                   |
| (株) M A G E S .                 | 295             | 100.0            | Webサービス事業、<br>映像・ゲーム事業、その他 |
| (株) バ ン タ ン                     | 90              | 100.0            | その他                        |
| (株) G z ブ レ イ ン                 | 100             | 100.0            | 出版事業、その他                   |
| (株) キ ャ ラ ア ニ                   | 465             | 77.2             | その他                        |
| KADOKAWA HOLDINGS ASIA LTD.     | 206<br>(百万香港ドル) | 100.0            | その他                        |
| 広 州 天 間 角 川 動 漫 有 限 公 司         | 30<br>(百万人民元)   | 49.0             | 出版事業                       |
| 台 湾 角 川 股 份 有 限 公 司             | 158<br>(百万台湾ドル) | 90.8             | 出版事業                       |
| KADOKAWA PICTURES AMERICA, INC. | 35<br>(百万米ドル)   | 100.0            | 映像・ゲーム事業                   |
| Y E N P R E S S , L L C         | 4<br>(百万米ドル)    | 51.0             | 出版事業                       |

- (注) 1. 出資比率は、間接保有を含んでおります。
2. 広州天間角川動漫有限公司は議決権の所有割合は100分の50以下ですが、実質的に支配しているため、子会社としております。
3. 特定完全子会社に関する事項

| 会社名         | 住所                     | 特定完全子会社株式の<br>帳簿価額 | 当社の総資産額   |
|-------------|------------------------|--------------------|-----------|
| (株)KADOKAWA | 東京都千代田区富士見<br>二丁目13番3号 | 69,537百万円          | 89,788百万円 |

(7) 事業の譲渡・譲受け、会社分割、合併及び他の会社の株式等の取得又は処分の状況  
該当事項はありません。

(8) 主要な事業内容 (2019年3月31日現在)

| 事業区分      | 主要な事業内容                                          |
|-----------|--------------------------------------------------|
| 出版事業      | 書籍の出版・販売等                                        |
|           | 電子書籍・電子雑誌の出版・販売等                                 |
|           | 雑誌の出版、雑誌及びWeb広告の販売等                              |
| 映像・ゲーム事業  | 映像配信権の許諾、映像パッケージソフトの販売、映画の企画・製作・配給等              |
|           | ゲームソフトウェア及びネットワークゲームの企画・開発・販売等                   |
| Webサービス事業 | (ポータル) 動画コミュニティサービスの運営等                          |
|           | (ライブ) 各種イベントの企画・運営、イベント会場の賃貸等                    |
|           | (モバイル) モバイルコンテンツの配信等                             |
| その他       | キャラクターグッズの企画・販売、アイドルCDの販売、教育事業の企画・運営、インバウンド関連事業等 |

招集ご通知

事業報告

計算書類等

監査報告書

株主総会参考書類

(9) 主要な営業所及び工場 (2019年3月31日現在)

① 当社

| 名 称 | 所 在 地                       |
|-----|-----------------------------|
| 本 社 | 東京都中央区 (登記上の本店所在地: 東京都千代田区) |

② 子会社

| 名 称                 | 所 在 地   |
|---------------------|---------|
| (株) K A D O K A W A | 東京都千代田区 |
| (株) ド ワ ン ゴ         | 東京都中央区  |
| (株) ビルディング・ブックセンター  | 埼玉県入間郡  |
| (株) 角 川 大 映 ス タ ジ オ | 東京都調布市  |
| グ ロ ー ビ ジ ョ ン (株)   | 東京都新宿区  |
| (株) バ ン タ ン         | 東京都渋谷区  |

## (10) 使用人の状況 (2019年3月31日現在)

## ① 企業集団の使用人の状況

| 事業区分      | 使用人数            |
|-----------|-----------------|
| 出版事業      | 1,669 (1,128) 名 |
| 映像・ゲーム事業  | 771 (256)       |
| Webサービス事業 | 845 (142)       |
| その他       | 476 (239)       |
| 全社 (共通)   | 785 (376)       |
| 合計        | 4,546 (2,141)   |

- (注) 1. 使用人数は就業員数であり、グループ外への出向者（兼務出向を含む）を除き、受入出向者、執行役員を含んでおります。
2. 臨時従業員（有期契約社員、派遣社員）の人数については、使用人数の括弧内に年間の平均人数を外数で記載しております。
3. 全社（共通）の使用人数は、当社及び複数事業区分を持つ子会社の間接部門の使用人数であります。

## ② 当社の使用人の状況

| 使用人数       | 平均年齢  | 平均勤続年数 |
|------------|-------|--------|
| 158 (48) 名 | 42.7歳 | 3.9年   |

- (注) 1. 当事業年度において、当社の使用人数（臨時従業員数を含む）は、4名減少して206名となりました。
2. 使用人数は就業員数であり、グループ内外への出向者（兼務出向を含む）を除き、受入出向者、執行役員を含んでおります。
3. 臨時従業員（有期契約社員、派遣社員）の人数については、使用人数の括弧内に年間の平均人数を外数で記載しております。
4. 平均勤続年数は、当社の設立日である2014年10月1日を起算日としております。

## (11) 主要な借入先の状況 (2019年3月31日現在)

| 借入先         | 借入額        |
|-------------|------------|
| (株) みずほ銀行   | 24,127 百万円 |
| (株) 三井住友銀行  | 20,205     |
| (株) 三菱UFJ銀行 | 9,000      |
| (株) りそな銀行   | 8,000      |
| (株) 埼玉りそな銀行 | 4,000      |

## 2. 当社の現況

### (1) 株式の状況 (2019年3月31日現在)

- |               |                                 |
|---------------|---------------------------------|
| ① 発行可能株式総数    | 260,000,000株                    |
| ② 発行済株式の総数    | 70,892,060株 (自己株式6,037,531株を含む) |
| ③ 株主数         | 35,232名                         |
| ④ 大株主 (上位10名) |                                 |

| 株 主 名                                             | 持 株 数   | 持 株 比 率 |
|---------------------------------------------------|---------|---------|
| 川 上 量 生                                           | 5,687千株 | 8.77%   |
| 日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)                           | 3,073   | 4.74    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)                         | 2,440   | 3.76    |
| 日 本 電 信 電 話 (株)                                   | 2,040   | 3.15    |
| GOLDMAN,SACHS&CO.REG (常任代理人<br>ゴールドマン・サックス証券株式会社) | 1,834   | 2.83    |
| 日 本 生 命 保 険 相 互 会 社                               | 1,714   | 2.64    |
| (株) バ ン ダ イ ナ ム コ ホ ー ル デ ィ ン グ ス                 | 1,530   | 2.36    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口9)                        | 1,401   | 2.16    |
| (株) N T T ド コ モ                                   | 1,204   | 1.86    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口5)                        | 1,122   | 1.73    |

- (注) 1. 当社は、自己株式6,037千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。なお、自己株式6,037千株には、当社と(株)ドワンゴの役員向け株式報酬制度及び両社の従業員向けESOP制度の信託財産として三井住友信託銀行(株) (信託E口) が所有している当社株式996千株、並びに(株)KADOKAWAの役員向け株式報酬制度 (子会社役員を含む) 及び同社の従業員向けESOP制度の信託財産として日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口) が所有している当社株式601千株を含んでおりません。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### (2) 新株予約権等の状況 (2019年3月31日現在)

該当事項はありません。

### (3) 会社役員の状況

#### ① 取締役及び監査役の状況（2019年3月31日現在）

| 会社における地位 | 氏名    | 担当及び重要な兼職の状況                                                |
|----------|-------|-------------------------------------------------------------|
| 取締役会長    | 角川 歴彦 | (株)KADOKAWA取締役会長<br>(公財)角川文化振興財団理事長<br>(一社)アニメツーリズム協会理事長    |
| 代表取締役社長  | 松原 眞樹 | (株)KADOKAWA代表取締役社長<br>(株)ドワンゴ取締役                            |
| 取締役      | 川上 量生 | (株)ドワンゴ顧問                                                   |
| 取締役      | 芳原 世幸 | (株)KADOKAWA取締役                                              |
| 取締役      | 船津 康次 | トランス・コスモス(株)代表取締役会長兼CEO                                     |
| 取締役      | 星野 康二 | (株)スタジオジブリ代表取締役会長                                           |
| 常勤監査役    | 高山 康明 | (株)KADOKAWA監査役                                              |
| 監査役      | 渡邊 顯  | 法律事務所Comm&Path弁護士<br>前田建設工業(株)社外取締役<br>アジアパイルホールディングス(株)取締役 |
| 監査役      | 新田 正実 | 新田公認会計士事務所所長                                                |

- (注) 1. 取締役船津康次氏及び星野康二氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
 2. 監査役渡邊顯氏及び新田正実氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。  
 3. 監査役高山康明氏及び新田正実氏は公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。  
 4. 当事業年度中における取締役の地位の異動は次のとおりであります。

| 氏名    | 異動前     | 異動後     | 異動年月日      |
|-------|---------|---------|------------|
| 川上 量生 | 代表取締役社長 | 取締役     | 2019年2月13日 |
| 松原 眞樹 | 取締役     | 代表取締役専務 | 2018年6月20日 |
|       | 代表取締役専務 | 代表取締役社長 | 2019年2月13日 |

5. 取締役川上量生氏は、2019年2月13日付で(株)ドワンゴの取締役を退任し、同日付で同社顧問に就任しております。  
 6. 当事業年度中に退任した取締役は次のとおりであります。

| 氏名    | 退任日        | 退任事由 | 退任時の重要な兼職の状況   |
|-------|------------|------|----------------|
| 荒木 隆司 | 2019年2月13日 | 辞任   | (株)ドワンゴ代表取締役社長 |
| 横澤 大輔 | 2019年2月13日 | 辞任   | (株)ドワンゴ取締役     |
| 栗田 穰崇 | 2019年2月13日 | 辞任   | (株)ドワンゴ取締役     |

## ② 責任限定契約の内容の概要

当社と各社外取締役及び各社外監査役は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。

当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、全社外取締役、全社外監査役とも、法令の定める最低責任限度額としております。

## ③ 取締役及び監査役の報酬等の総額

| 区 分             | 支 給 人 員     | 支 給 額            |
|-----------------|-------------|------------------|
| (う ち 社 外 取 締 役) | 10名<br>(2名) | 87百万円<br>(14百万円) |
| (う ち 社 外 監 査 役) | 5名<br>(3名)  | 35百万円<br>(14百万円) |
| 合 計             | 15名         | 122百万円           |

- (注) 1. 上記には、2018年6月20日開催の第4期定時株主総会終結の時をもって退任した取締役1名(社外取締役ではありません)及び監査役2名(うち社外監査役1名)、2019年2月13日をもって辞任により退任した取締役3名(社外取締役ではありません)を含んでおります。
2. 取締役の報酬限度額は、2015年6月23日開催の第1期定時株主総会において、年額4億円以内(ただし、使用人分給与は含まない)と決議いただいております。また、同株主総会において、社外取締役を除く取締役に対して、連続する3事業年度ごとを対象に合計12億円(年間4億円相当)を上限とする金銭を拠出し、信託期間3年の信託により取得する株式報酬を決議いただいております。なお、当事業年度においては、株式報酬はありません。
3. 監査役の報酬限度額は、2015年6月23日開催の第1期定時株主総会において、年額5千万円以内と決議いただいております。

## ④ 社外役員に関する事項

### ア. 重要な兼職の状況及び当該兼職先との関係

|               | 重要な兼職の状況                                                    |
|---------------|-------------------------------------------------------------|
| 取 締 役 船 津 康 次 | トランス・コスモス(株)代表取締役会長兼CEO                                     |
| 取 締 役 星 野 康 二 | (株)スタジオジブリ代表取締役会長                                           |
| 監 査 役 渡 邊 顯   | 法律事務所Comm&Path弁護士<br>前田建設工業(株)社外取締役<br>アジアパイルホールディングス(株)取締役 |
| 監 査 役 新 田 正 実 | 新田公認会計士事務所所長                                                |

- (注) 1. 当社は、取締役船津康次氏及び星野康二氏並びに監査役渡邊顯氏及び新田正実氏の4名を、一般株主と利益相反が生じるおそれがない独立役員として、(株)東京証券取引所に届け出ております。
2. 各社外役員の兼職先と当社との間に特記すべき取引関係はありません。

## イ. 当事業年度における主な活動状況

### (ア) 取締役会及び監査役会への出席状況

|               | 取 締 役 会 |       | 監 査 役 会 |       |
|---------------|---------|-------|---------|-------|
|               | 出 席 回 数 | 出 席 率 | 出 席 回 数 | 出 席 率 |
| 取 締 役 船 津 康 次 | 17回中16回 | 94%   | －       | －     |
| 取 締 役 星 野 康 二 | 17回中17回 | 100%  | －       | －     |
| 監 査 役 渡 邊 顯   | 17回中16回 | 94%   | 16回中15回 | 94%   |
| 監 査 役 新 田 正 実 | 14回中14回 | 100%  | 14回中14回 | 100%  |

- (注) 1. 当事業年度におきましては、合計17回の取締役会（定時取締役会12回、臨時取締役会5回）を開催しました。また、当事業年度におきましては、合計16回の監査役会を開催しました。
2. 監査役新田正実氏は、2018年6月20日開催の第4期定時株主総会において新たに選任されたため、取締役会及び監査役会の開催回数が他の社外役員と異なっております。

### (イ) 取締役会・監査役会における発言状況

- ・取締役船津康次氏は、企業経営者としての豊富な経験とIT分野における専門的な知識を活かした発言を行っております。
- ・取締役星野康二氏は、企業経営者としての豊富な経験とエンタテインメント事業における専門的な知識を活かした発言を行っております。
- ・監査役渡邊顯氏は、主に弁護士としての専門的見地から、法令遵守等についての助言・提言を行っております。
- ・監査役新田正実氏は、主に公認会計士としての専門的見地から、財務及び会計面等についての助言・提言を行っております。

#### (4) 会計監査人の状況

① 名称 有限責任監査法人トーマツ

② 報酬等の額

|                                     | 金 額    |
|-------------------------------------|--------|
| 公認会計士法第2条第1項の業務の対価として当社が支払うべき報酬等の額  | 18百万円  |
| 当社及び子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 108百万円 |

(注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査に係る報酬等と金融商品取引法に基づく監査に係る報酬等の額を区別しておりませんので、報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

2. 監査役会は、会計監査人の監査計画の内容、職務執行状況、過去の報酬実績、報酬見積額の算出根拠等を確認し検討した結果、相当であると判断し、上記報酬等の額に同意しております。

3. 当社の重要な子会社のうち台湾角川股份有限公司、KADOKAWA HOLDINGS ASIA LTD.及び廣州天聞角川動漫有限公司は、当社の会計監査人以外の現地に所在する監査法人による監査を受けております。

③ 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると判断される場合は、監査役全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初の株主総会において、解任した旨及びその理由を報告いたします。

また、会計監査人の品質管理、独立性、専門性等の観点から監査を遂行するに不十分であると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の解任又は不再任に関する議案の内容を決定いたします。

④ 責任限定契約の内容の概要

会計監査人と当社との間に、責任限定契約は締結されていません。

## (5) 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

当社の業務の適正を確保するための体制（内部統制システムの基本方針）は、以下のとおりであります。（最終改定 2016年3月24日）

- ① 当社の取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
  - ア. 取締役及び使用人の職務の執行が、法令及び定款に適合し、企業倫理に則り、かつ社会的責任を果たすため、コンプライアンス規程を定め、取締役及び使用人に周知徹底させる。
  - イ. コンプライアンスを尊重する社内風土を醸成するため、コンプライアンス委員会を設置する。
  - ウ. 役員及び使用人が社内でコンプライアンス上問題のある行為を知ったときは、不利益を受けることがないことを保証したうえで通報することを義務づけ、内部通報窓口を社内外に設けて、適切な対応を行う。
  - エ. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体に対しては、組織・役員及び使用人一体として毅然とした態度で対応し、取引関係その他一切の関係を持たない。
- ② 当社の取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制  
取締役の職務執行に係る情報については、その取扱いに関する社内規程に基づき、適正に保存及び管理を行う。
- ③ 当社の損失の危険の管理に関する規程その他の体制  
当社は、リスク管理体制の基礎として、リスク管理規程を定め、リスクについての管理責任者を決定し、同規程に従ったリスク管理を行う。
- ④ 当社の取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
  - ア. 取締役会を原則毎月1回開催する他、適宜臨時に開催し、重要事項に関して迅速かつ的確な意思決定を行う。
  - イ. 業務執行に際しては、職務権限を定めた社内規程を始め、各種の社内規程に基づき、効率的な意思決定を行う。
  - ウ. 職務の執行を効率的に行うために、適正な業務組織と分掌事項を設定する。

⑤ 企業集団における業務の適正を確保するための体制

- ア. 子会社における重要な意思決定についての当社の関与の仕組みや、業務執行にかかる重要事項について当社への報告を求める仕組みを社内規程により整備し、主要な子会社と連携して子会社の管理、監督を行うとともに、子会社の取締役等の職務の執行の効率化を図る。
- イ. 当社の内部監査部門は、直接又は子会社の内部監査部門と連携して、子会社の法令及び定款の遵守体制並びに内部統制システムの有効性を含めて監査を実施する。子会社を主管する部門は、これらの体制に是正又は改善の必要があるときには、速やかにその対策を講ずるよう、適切な指導を行う。
- ウ. 当社のほか、主要な子会社においてもリスク管理規程を定め、当社と連携して当社グループ全体のリスクの把握、管理を行う。
- エ. 当社のコンプライアンス委員会に、子会社のコンプライアンスに関連する事項を報告させ、当社グループ全体として取締役等及び使用人の法令及び定款の遵守に努めるとともに、当社グループ内の内部通報制度を整備し、適切な対応を行う。

⑥ 当社の監査役の職務を補助すべき使用人に関する事項、当該使用人の当社の取締役からの独立性及び当該使用人に対する当社の監査役の指示の実効性の確保に関する事項

- ア. 監査役会の要請に応じて、監査役の職務を補助するための使用人を置くこととし、その任命、異動については、監査役会の同意を必要とするものとする。
- イ. 監査役の職務を補助するための使用人を置く場合は、当社の業務執行に係る役職を兼務せず、監査役の指揮命令下で職務を遂行し、その評価については監査役の意見を聴取して行う。

⑦ 当社の監査役への報告体制及びその他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

- ア. 当社及び子会社の取締役等、監査役及び使用人は、取締役会以外で決定される重要な事項のほか、内部監査の結果等や、内部通報窓口への通報状況等について、直接の報告又は監査役との会議等を通じ、当社の監査役に報告する。
- イ. 当社の監査役は、監査上必要とする書類の閲覧・報告を当社及び子会社の取締役又は使用人に求めることができる。
- ウ. 当社グループは、上記の報告を行った者に対し、監査役に当該報告を行ったことを理由として、不利益な取り扱いを行わない。
- エ. 監査役による監査にかかる諸費用については、監査の実効性を担保するべく予算を設ける。

なお、当事業年度における業務の適正を確保するための体制の運用状況の概況は、以下のとおりであります。

- ① 当社の取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
  - ア. コンプライアンス規程をグループウェアに掲示し、その周知に努めるとともに、規程に基づき、定期的また必要に応じてコンプライアンス委員会を適宜開催しております。
  - イ. 社外弁護士を含む複数の内部通報窓口を設置し、通報者保護を社内規程に明記するなど、適切に運用しております。
  - ウ. 反社会的勢力に対しては、行動規範を定めて、その中で反社会勢力とは一切の関係を持たないことを明確にするとともに、実務面においては、企業対象暴力対応マニュアルに基づく運用、契約書において反社条項を盛り込むなどを実施しております。
- ② 当社の取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制  
取締役会議事録や決裁等の取締役の職務の執行にかかる情報（文書又は電磁的記録）は、文書管理規程等の社内規程により、適切に保存及び管理を行っております。
- ③ 当社の損失の危険の管理に関する規程その他の体制  
リスク管理規程をグループウェアに掲示し、その周知に努めるとともに、規程に基づき定期的また必要に応じてリスク管理委員会を適宜開催しております。
- ④ 当社の取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
  - ア. 取締役会については、当事業年度17回（定時取締役会12回、臨時取締役会5回）開催しております。
  - イ. 組織・業務分掌規程、職務権限規程、職務権限表、取締役会規則等により組織、分掌、権限、責任を明確にするとともに、その内容についても定期的に見直しを図っております。
- ⑤ 企業集団における業務の適正を確保するための体制
  - ア. グループ経営管理規程に基づいて、当社取締役会で審議又は報告をうけることにより、子会社の重要な意思決定について管理・監督を行っております。
  - イ. 当社及び主要な子会社の内部監査規程に基づいて、当社と主要な子会社の内部監査部門が連携して子会社の管理・監督を行っております。
  - ウ. 主要な子会社のリスク管理委員会において、各々のリスクの識別、評価、対応に努めております。また、当社のリスク管理委員会が、主要な子会社のリスク管理委員会と連携し、グループのリスクの把握に努めております。
  - エ. 当社のコンプライアンス委員会が、当社グループのコンプライアンス関連事案の把握を行っております。また、グループ内に整備した内部通報制度に基づき、各社において適切な対応を行っております。

- ⑥ 当社の監査役の職務を補助すべき使用人に関する事項、当該使用人の当社の取締役からの独立性及び当該使用人に対する当社の監査役の指示の実効性の確保に関する事項  
当社は、監査役の職務を補助するため、業務執行から独立した監査役補助者を置くこと、また監査役補助者は、取締役からの独立性を確保するように関連規程で整備しておりますが、現在、監査役補助者はおりません。
- ⑦ 当社の監査役への報告体制及びその他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制
- ア. 監査役は、取締役会のほか、取締役との定期ミーティングを含む重要な会議体に出席し報告を受けております。その他重要書類の閲覧等を通じて、当社及び子会社における必要な情報を適正に入手できる体制を整備しております。
- イ. 当社グループでは、監査役へ報告を行った者については不利益な取扱いがなされないこととしております。
- ウ. 監査役の監査に必要な諸費用については、予算を設けております。

#### (6) 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、株主をはじめとするステークホルダーに対する利益配分を継続的に実施することが重要であると認識しており、その前提として永続的な企業経営を行うことが必要であると考えております。そのためには、企業体質の強化、将来の事業展開に備え内部留保を充実させることが必要条件であると考えております。

その上で、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識しており、各期の経営成績を考慮に入れ検討してまいりたいと考えております。

当社は剰余金の配当を年1回、期末に行うことを基本方針としております。なお、剰余金の配当については、法令による別段の定めのある場合を除き、取締役会の決議により定める旨を定款に定めております。

2019年3月期の配当につきましては、1株当たり20円の配当を実施する予定です。なお、次期の配当につきましても1株当たり20円の配当を予定しております。

内部留保につきましては、今後の事業展開のための戦略投資に充当し、業績の更なる向上に努めてまいります。

# 連結貸借対照表

(2019年3月31日現在)

| 科 目               | 金 額     | 科 目                       | 金 額     |
|-------------------|---------|---------------------------|---------|
| (資 産 の 部)         | 百万円     | (負 債 の 部)                 | 百万円     |
| 流 動 資 産           | 148,975 | 流 動 負 債                   | 65,325  |
| 現 金 及 び 預 金       | 73,597  | 支 払 手 形 及 び 買 掛 金         | 27,406  |
| 受 取 手 形 及 び 売 掛 金 | 47,528  | 短 期 借 入 金                 | 402     |
| た な 卸 資 産         | 19,288  | 1 年 内 返 済 予 定 の 長 期 借 入 金 | 78      |
| 前 払 費 用           | 1,482   | 未 払 金                     | 7,233   |
| 預 け 金             | 2,958   | 未 払 法 人 税 等               | 3,033   |
| そ の 他             | 4,870   | 前 受 金                     | 8,999   |
| 貸 倒 引 当 金         | △750    | 預 り 金                     | 3,206   |
| 固 定 資 産           | 91,096  | 賞 与 引 当 金                 | 3,463   |
| 有 形 固 定 資 産       | 50,816  | ポ イ ン ト 引 当 金             | 131     |
| 建 物 及 び 構 築 物     | 11,234  | 返 品 引 当 金                 | 7,358   |
| 機 械 及 び 装 置       | 1,591   | 株 式 給 付 引 当 金             | 148     |
| 工 具 、 器 具 及 び 備 品 | 1,100   | 役 員 株 式 給 付 引 当 金         | 289     |
| 土 地               | 20,255  | そ の 他                     | 3,572   |
| 建 設 仮 勘 定         | 16,540  | 固 定 負 債                   | 71,335  |
| そ の 他             | 94      | 長 期 借 入 金                 | 65,038  |
| 無 形 固 定 資 産       | 6,472   | 繰 延 税 金 負 債               | 1,200   |
| ソ フ ト ウ ェ ア       | 4,559   | 退 職 給 付 に 係 る 負 債         | 3,246   |
| の れ ん             | 551     | そ の 他                     | 1,849   |
| そ の 他             | 1,361   | 負 債 合 計                   | 136,660 |
| 投 資 そ の 他 の 資 産   | 33,807  | (純 資 産 の 部)               |         |
| 投 資 有 価 証 券       | 25,459  | 株 主 資 本                   | 95,785  |
| 退 職 給 付 に 係 る 資 産 | 49      | 資 本 金                     | 20,625  |
| 繰 延 税 金 資 産       | 1,696   | 資 本 剰 余 金                 | 62,095  |
| 保 険 積 立 金         | 1,455   | 利 益 剰 余 金                 | 23,412  |
| 差 入 保 証 金         | 4,178   | 自 己 株 式                   | △10,346 |
| そ の 他             | 1,652   | そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額     | 5,555   |
| 貸 倒 引 当 金         | △685    | そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金   | 4,625   |
| 資 産 合 計           | 240,072 | 土 地 再 評 価 差 額 金           | 10      |
|                   |         | 為 替 換 算 調 整 勘 定           | 786     |
|                   |         | 退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額   | 132     |
|                   |         | 非 支 配 株 主 持 分             | 2,070   |
|                   |         | 純 資 産 合 計                 | 103,411 |
|                   |         | 負 債 純 資 産 合 計             | 240,072 |

招集ご通知

事業報告

計算書類等

監査報告書

株主総会参考書類

# 連結損益計算書

(2018年4月1日から  
2019年3月31日まで)

| 科 目                                                                                                                                                         |       | 金 額   |         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|---------|
| 売上<br>売上<br>販売費<br>営業<br>受取<br>受取<br>持分<br>為替<br>物<br>営業<br>支<br>経<br>特<br>持<br>固<br>投<br>資<br>特<br>減<br>投<br>事<br>業<br>所<br>税金<br>法人<br>法人<br>当期<br>非<br>親 | 上     | 百万円   | 百万円     |
|                                                                                                                                                             | 原価    |       | 208,605 |
|                                                                                                                                                             | 総管理費  |       | 151,590 |
|                                                                                                                                                             | 一般管理費 |       | 57,015  |
|                                                                                                                                                             | 利益    |       | 54,307  |
|                                                                                                                                                             | 外収    |       | 2,707   |
|                                                                                                                                                             | 利     | 159   |         |
|                                                                                                                                                             | 息     | 434   |         |
|                                                                                                                                                             | 金     | 366   |         |
|                                                                                                                                                             | 当     | 254   |         |
|                                                                                                                                                             | 投資    | 181   |         |
|                                                                                                                                                             | 利     | 220   | 1,615   |
|                                                                                                                                                             | 益     |       |         |
|                                                                                                                                                             | 他     |       |         |
|                                                                                                                                                             | 費用    | 97    |         |
|                                                                                                                                                             | 利     | 19    | 117     |
|                                                                                                                                                             | 息     |       | 4,205   |
|                                                                                                                                                             | 他     |       |         |
|                                                                                                                                                             | 常     |       |         |
|                                                                                                                                                             | 利     |       |         |
|                                                                                                                                                             | 益     | 47    |         |
|                                                                                                                                                             | 動     | 10    |         |
|                                                                                                                                                             | 利     | 38    |         |
|                                                                                                                                                             | 益     | 4     | 100     |
|                                                                                                                                                             | 却     |       |         |
|                                                                                                                                                             | 益     |       |         |
|                                                                                                                                                             | 却     |       |         |
|                                                                                                                                                             | 益     |       |         |
|                                                                                                                                                             | 他     |       |         |
|                                                                                                                                                             | 損     | 4,174 |         |
|                                                                                                                                                             | 失     | 240   |         |
|                                                                                                                                                             | 失     | 261   |         |
|                                                                                                                                                             | 損     | 9     | 4,685   |
|                                                                                                                                                             | 失     |       | 379     |
|                                                                                                                                                             | 純     | 4,052 |         |
|                                                                                                                                                             | 損     | △343  | 3,709   |
|                                                                                                                                                             | 失     |       | 4,088   |
|                                                                                                                                                             | 純     |       | 2       |
|                                                                                                                                                             | 損     |       | 4,085   |
|                                                                                                                                                             | 失     |       |         |

# 連結株主資本等変動計算書

(2018年4月1日から  
2019年3月31日まで)

(単位：百万円)

|                          | 株 主 資 本 |        |        |         |           |
|--------------------------|---------|--------|--------|---------|-----------|
|                          | 資 本 金   | 資本剰余金  | 利益剰余金  | 自 己 株 式 | 株 主 資 本 計 |
| 当 期 首 残 高                | 20,625  | 62,095 | 28,846 | △7,452  | 104,114   |
| 当 期 変 動 額                |         |        |        |         |           |
| 剰 余 金 の 配 当              |         |        | △1,348 |         | △1,348    |
| 親 会 社 株 主 に<br>帰属する当期純損失 |         |        | △4,085 |         | △4,085    |
| 自 己 株 式 の 取 得            |         |        |        | △3,000  | △3,000    |
| 自 己 株 式 の 処 分            |         |        |        | 106     | 106       |
| 連結子会社株式の取得<br>による持分の増減   |         | △0     |        |         | △0        |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額）  |         |        |        |         |           |
| 当 期 変 動 額 合 計            | －       | △0     | △5,434 | △2,894  | △8,328    |
| 当 期 末 残 高                | 20,625  | 62,095 | 23,412 | △10,346 | 95,785    |

|                          | そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 |                            |                                 |                                      |                                                      | 非 支 配<br>株 主 持 分 | 純 資 産<br>合 計 |         |
|--------------------------|-----------------------|----------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------------------------|------------------|--------------|---------|
|                          | そ<br>有<br>評<br>価      | の<br>証<br>券<br>金<br>差<br>額 | 土<br>地<br>再<br>評<br>価<br>金<br>額 | 為<br>替<br>換<br>算<br>調<br>整<br>勘<br>定 | 退<br>職<br>給<br>付<br>に<br>関<br>連<br>する<br>累<br>計<br>額 |                  |              |         |
| 当 期 首 残 高                |                       | 1,841                      | 10                              | 1,100                                | 69                                                   | 3,021            | 1,992        | 109,128 |
| 当 期 変 動 額                |                       |                            |                                 |                                      |                                                      |                  |              |         |
| 剰 余 金 の 配 当              |                       |                            |                                 |                                      |                                                      |                  |              | △1,348  |
| 親 会 社 株 主 に<br>帰属する当期純損失 |                       |                            |                                 |                                      |                                                      |                  |              | △4,085  |
| 自 己 株 式 の 取 得            |                       |                            |                                 |                                      |                                                      |                  |              | △3,000  |
| 自 己 株 式 の 処 分            |                       |                            |                                 |                                      |                                                      |                  |              | 106     |
| 連結子会社株式の取得に<br>よる持分の増減   |                       |                            |                                 |                                      |                                                      |                  |              | △0      |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額）  |                       | 2,784                      | －                               | △314                                 | 63                                                   | 2,533            | 78           | 2,611   |
| 当 期 変 動 額 合 計            |                       | 2,784                      | －                               | △314                                 | 63                                                   | 2,533            | 78           | △5,716  |
| 当 期 末 残 高                |                       | 4,625                      | 10                              | 786                                  | 132                                                  | 5,555            | 2,070        | 103,411 |

招集ご通知

事業報告

計算書類等

監査報告書

株主総会参考書類

# 貸 借 対 照 表

(2019年3月31日現在)

| 科 目               | 金 額    | 科 目             | 金 額     |
|-------------------|--------|-----------------|---------|
| (資 産 の 部)         | 百万円    | (負 債 の 部)       | 百万円     |
| 流 動 資 産           | 16,337 | 流 動 負 債         | 1,735   |
| 現 金 及 び 預 金       | 15,444 | 未 払 金           | 207     |
| 売 掛 金             | 354    | 未 払 費 用         | 8       |
| 前 払 費 用           | 152    | 預 り 金           | 1,435   |
| 未 収 還 付 法 人 税 等   | 362    | 賞 与 引 当 金       | 50      |
| そ の 他             | 23     | そ の 他           | 32      |
| 固 定 資 産           | 73,451 | 固 定 負 債         | 30,520  |
| 有 形 固 定 資 産       | 771    | 長 期 借 入 金       | 30,000  |
| 建 物               | 710    | 繰 延 税 金 負 債     | 94      |
| 工 具 、 器 具 及 び 備 品 | 60     | 資 産 除 去 債 務     | 426     |
| 無 形 固 定 資 産       | 250    | 負 債 合 計         | 32,256  |
| ソ フ ト ウ ェ ア       | 250    | (純資産の部)         |         |
| 投 資 そ の 他 の 資 産   | 72,430 | 株 主 資 本         | 57,532  |
| 関 係 会 社 株 式       | 71,238 | 資 本 金           | 20,625  |
| 差 入 保 証 金         | 1,188  | 資 本 剰 余 金       | 64,104  |
| そ の 他             | 3      | 資 本 準 備 金       | 20,625  |
| 資 産 合 計           | 89,788 | そ の 他 資 本 剰 余 金 | 43,479  |
|                   |        | 利 益 剰 余 金       | △17,008 |
|                   |        | そ の 他 利 益 剰 余 金 | △17,008 |
|                   |        | 繰 越 利 益 剰 余 金   | △17,008 |
|                   |        | 自 己 株 式         | △10,188 |
|                   |        | 純 資 産 合 計       | 57,532  |
|                   |        | 負 債 純 資 産 合 計   | 89,788  |

# 損 益 計 算 書

( 2018年 4 月 1 日から  
2019年 3 月31日まで )

| 科 目                     |                         | 金 額    |        |
|-------------------------|-------------------------|--------|--------|
| 営 業 収 益                 | 営 業 費 用                 | 百万円    | 百万円    |
|                         |                         |        | 5,738  |
| 営 業 外 収 益               | 営 業 外 収 益               |        | 4,105  |
|                         |                         |        | 1,633  |
| 受 取 の 利 息 他             | 受 取 の 利 息 他             | 2      |        |
|                         |                         | 2      | 4      |
| 営 業 外 費 用               | 営 業 外 費 用               |        |        |
|                         |                         |        |        |
| 支 払 の 利 息 他             | 支 払 の 利 息 他             | 36     |        |
|                         |                         | 4      |        |
| 自 己 株 式 取 得 費 用 他       | 自 己 株 式 取 得 費 用 他       | 6      | 46     |
|                         |                         |        |        |
| 経 常 利 益                 | 経 常 利 益                 |        | 1,591  |
|                         |                         |        |        |
| 特 別 損 失                 | 特 別 損 失                 |        |        |
|                         |                         |        |        |
| 関 係 会 社 株 式 評 価 損       | 関 係 会 社 株 式 評 価 損       | 19,277 | 19,277 |
|                         |                         |        |        |
| 税 引 前 当 期 純 損 失         | 税 引 前 当 期 純 損 失         |        | 17,686 |
|                         |                         | 3      |        |
| 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 | 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 | △8     | △4     |
|                         |                         |        |        |
| 法 人 税 等 調 整 額 失         | 法 人 税 等 調 整 額 失         |        | 17,681 |
|                         |                         |        |        |

招 集 ご 通 知

事 業 報 告

計 算 書 類 等

監 査 報 告 書

株 主 総 会 参 考 書 類

## 株主資本等変動計算書

（2018年4月1日から  
2019年3月31日まで）

（単位：百万円）

|               | 株 主 資 本 |           |                |              |                             |              |
|---------------|---------|-----------|----------------|--------------|-----------------------------|--------------|
|               | 資 本 金   | 資 本 剰 余 金 |                |              | 利 益 剰 余 金                   |              |
|               |         | 資本準備金     | そ の 他<br>資本剰余金 | 資本剰余金<br>合 計 | そ の 他<br>利益剰余金<br>繰 越 利 益 金 | 利益剰余金<br>合 計 |
| 当 期 首 残 高     | 20,625  | 20,625    | 43,479         | 64,104       | 2,035                       | 2,035        |
| 当 期 変 動 額     |         |           |                |              |                             |              |
| 剰 余 金 の 配 当   |         |           |                |              | △1,362                      | △1,362       |
| 当 期 純 損 失     |         |           |                |              | △17,681                     | △17,681      |
| 自 己 株 式 の 取 得 |         |           |                |              |                             |              |
| 自 己 株 式 の 処 分 |         |           |                |              |                             |              |
| 当 期 変 動 額 合 計 | －       | －         | －              | －            | △19,044                     | △19,044      |
| 当 期 末 残 高     | 20,625  | 20,625    | 43,479         | 64,104       | △17,008                     | △17,008      |

|               | 株 主 資 本 |                | 純 資 産<br>計 |
|---------------|---------|----------------|------------|
|               | 自 己 株 式 | 株 主 資 本<br>合 計 |            |
| 当 期 首 残 高     | △6,428  | 80,336         | 80,336     |
| 当 期 変 動 額     |         |                |            |
| 剰 余 金 の 配 当   |         | △1,362         | △1,362     |
| 当 期 純 損 失     |         | △17,681        | △17,681    |
| 自 己 株 式 の 取 得 | △3,866  | △3,866         | △3,866     |
| 自 己 株 式 の 処 分 | 106     | 106            | 106        |
| 当 期 変 動 額 合 計 | △3,759  | △22,804        | △22,804    |
| 当 期 末 残 高     | △10,188 | 57,532         | 57,532     |

独立監査人の監査報告書

2019年5月21日

カドカワ株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 広 瀬 勉 ㊞  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 石 田 義 浩 ㊞  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、カドカワ株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、カドカワ株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 計算書類に係る会計監査報告

### 独立監査人の監査報告書

2019年5月21日

カドカワ株式会社  
取締役会 御中

#### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 広 瀬 勉 ㊞  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 石 田 義 浩 ㊞  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、カドカワ株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの第5期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

#### 計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 強調事項

重要な後発事象に関する注記（2019年7月1日付会社分割）に記載のとおり、会社は、2019年5月14日開催の取締役会において、2019年7月1日付で㈱KADOKAWAの全ての事業（但し、㈱ビルディング・ブックセンター及び㈱KADOKAWA KEY-PROCESSの株式の所有に係る事業を除く）を当社に承継させる吸収分割を実施することを決議した。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監査報告書

当監査役会は、2018年4月1日から2019年3月31日までの第5期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、監査計画等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、監査計画等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
  - ①取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社等において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
  - ②事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
  - ③会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（2005年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2019年5月24日

カドカワ株式会社 監査役会

常勤監査役 高山 康 明 ㊟

社外監査役 渡 邊 顯 ㊟

社外監査役 新 田 正 実 ㊟

以 上

# 株主総会参考書類

## 第1号議案 定款一部変更の件

2019年7月1日付で、現行定款の一部を次のとおり変更したいと存じます。

### 1. 変更の理由

当社は、子会社である株式会社KADOKAWAとの間で、2019年7月1日を効力発生日として、当社が株式会社KADOKAWAの全ての事業（但し、株式会社ビルディング・ブックセンター及び株式会社KADOKAWA KEY-PROCESSの株式の所有に係る事業を除きます。）を承継する吸収分割（以下「本分割」といいます。）を行い、純粹持株会社から事業持株会社に移行することに伴い、吸収分割会社である株式会社KADOKAWAの商号を承継すべく定款第1条を変更するとともに、事業内容の多様化に対応するため、定款第2条の目的事項を追加するものであります。

なお、定款第1条の変更の効力発生は、本分割の効力発生を条件といたします。

### 2. 変更の内容

変更の内容は次のとおりであります。

（下線部分が変更箇所です。）

| 現行定款                                                                                          | 変更定款案                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| (商 号)<br>第1条<br>当社は、カドカワ株式会社と称し、英語では<br><u>KADOKAWA DWANGO CORPORATION</u> と表示する。             | (商 号)<br>第1条<br>当社は、株式会社KADOKAWAと称し、英語では<br><u>KADOKAWA CORPORATION</u> と表示する。                |
| (目 的)<br>第2条<br>1 当社は、次の事業を営む会社及びこれに相当する事業を営む外国会社の株式又は持分を所有することにより、当該会社の事業活動を支配・管理することを目的とする。 | (目 的)<br>第2条<br>1 当社は、次の事業を営む会社及びこれに相当する事業を営む外国会社の株式又は持分を所有することにより、当該会社の事業活動を支配・管理することを目的とする。 |
| (1)～(51) (条文省略)                                                                               | (1)～(51) (現行どおり)                                                                              |
| (新設)                                                                                          | (52) 児童福祉法に定める放課後児童健全育成事業                                                                     |
| (52) (条文省略)                                                                                   | (53) (現行どおり)                                                                                  |
| (53) (条文省略)                                                                                   | (54) (現行どおり)                                                                                  |

招集通知

事業報告

計算書類等

監査報告書

株主総会参考書類

## 第2号議案 取締役12名選任の件

本総会終結の時をもって取締役6名全員が任期満了となります。また純粋持株会社から事業持株会社への移行に伴い、経営体制の強化を図るために6名増員し、新たに取締役12名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は次のとおりであります。

| 候補者<br>番 号                                                                                                                                                                                                                           | 氏 名<br>(生年月日)                        | 略 歴、 地 位、 担 当 及 び 重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 所有する当社<br>株 式 の 数 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 1                                                                                                                                                                                                                                    | かどかわ つぐひこ<br>角 川 歴 彦<br>(1943年9月1日生) | 1966年3月 (株)角川書店〔現(株)KADOKAWA〕入社<br>1993年10月 同社代表取締役社長<br>1995年7月 (一財)角川文化振興財団〔現(公財)角川文化振興財団〕理事長(現任)<br>1999年4月 台湾國際角川書店股份有限公司〔現台湾角川股份有限公司〕董事長<br>2002年6月 (株)角川書店代表取締役会長兼CEO<br>2002年8月 (株)角川大映映画代表取締役会長<br>2003年4月 (株)角川ホールディングス〔現(株)KADOKAWA〕代表取締役社長兼CEO<br>2003年4月 (株)角川書店代表取締役会長兼CEO<br>2004年5月 日本映像振興(株)代表取締役社長<br>2005年4月 (株)角川ホールディングス代表取締役会長兼CEO<br>2005年5月 カドカワ ホールディングス US INC社長<br>2005年12月 (株)角川モバイル〔現(株)ブックウォーカー〕代表取締役会長<br>2010年6月 (株)角川グループホールディングス〔現(株)KADOKAWA〕取締役会長(現任)<br>2013年2月 (株)角川アスキー総合研究所代表取締役社長<br>2014年10月 当社取締役相談役<br>2015年10月 (株)ところざわサクラタウン代表取締役会長(現任)<br>2017年3月 (一社)アニメツーリズム協会理事長(現任)<br>2017年6月 当社取締役会長(現任) | 996,560株          |
| [取締役候補者とした理由]<br>角川歴彦氏は当社取締役会長に就任しております。また、当社子会社である(株)KADOKAWAの代表取締役社長兼CEOを務め、現在は同社の取締役会長に就任しております。そのほか、同社の子会社の代表取締役を歴任し、同社及びその子会社に精通しております。同氏の(株)KADOKAWA及び子会社の経営における豊富な経験と高い見識が、当社取締役としての職務の適切な遂行に資するものと判断し、取締役として選任をお願いするものであります。 |                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                   |

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                                                                  | 氏 名<br>(生年月日)                        | 略 歴、地 位、担 当 及 び 重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 所有する当社<br>株 式 の 数 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 2                                                                                                                                                                                                                          | まつばら まさき<br>松 原 真 樹<br>(1953年4月11日生) | 1999年4月 (株)角川書店〔現(株)KADOKAWA〕入社<br>2004年10月 (株)エス・エス・コミュニケーションズ代表取締役社長<br>2009年7月 (株)K. S e n s e 〔現(株)毎日が発見〕代表取締役社長<br>2009年9月 同社代表取締役会長<br>2010年6月 (株)角川グループホールディングス〔現(株)KADOKAWA〕取締役<br>2014年4月 同社代表取締役社長（現任）<br>2014年10月 当社取締役<br>2015年4月 (株)角川大映スタジオ取締役<br>2015年4月 グロービジョン(株)取締役<br>2015年4月 (株)角川ゲームス取締役（現任）<br>2015年4月 (株)K. S e n s e 取締役<br>2015年4月 (株)ブックウォーカー取締役（現任）<br>2015年4月 (株)キャラアニ取締役（現任）<br>2015年4月 (株)エイガウォーカー〔現(株)ムービーウォーカー〕取締役（現任）<br>2015年4月 (株)ビルディング・ブックセンター取締役（現任）<br>2015年6月 (株)ドワンゴ取締役（現任）<br>2015年7月 (株)ところざわサクラタウン代表取締役社長<br>2015年10月 同社取締役<br>2017年4月 (株)K's Lab取締役（現任）<br>2018年6月 当社代表取締役専務<br>2019年2月 当社代表取締役社長（現任） | 35,681株           |
| [取締役候補者とした理由]<br>松原真樹氏は当社代表取締役社長に就任しております。また、当社子会社である(株)KADOKAWAの代表取締役社長に就任しております。そのほか、同社の子会社の代表取締役を歴任し、同社及びその子会社に精通しております。同氏の(株)KADOKAWA及び子会社の経営における経営者としての豊富な経験と高い見識が、当社取締役としての職務の適切な遂行に資するものと判断し、取締役として選任をお願いするものであります。 |                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                   |

招集ご通知

事業報告

計算書類等

監査報告書

株主総会参考書類

| 候補者<br>番 号                                                                                                                                                                                                            | 氏 名<br>(生年月日)                             | 略 歴、地 位、担 当 及 び 重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 所有する当社<br>株 式 の 数 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 3                                                                                                                                                                                                                     | いのうえ しんいちろう<br>井 上 伸 一 郎<br>(1959年1月28日生) | 1987年 4 月 (株)ザテレビジョン入社<br>2002年 6 月 (株)角川書店〔現(株)KADOKAWA〕取締役<br>2003年 4 月 (株)角川書店取締役<br>2005年 4 月 同社常務取締役<br>2006年 3 月 同社専務取締役<br>2006年 6 月 同社代表取締役専務<br>2007年 1 月 (株)角川書店代表取締役社長<br>2007年 4 月 (株)角川プロダクション代表取締役社長<br>2008年 6 月 (株)角川グループホールディングス〔現(株)KADOKAWA〕取<br>締役<br>2010年 6 月 同社常務取締役<br>2011年 1 月 (株)角川コンテンツゲート〔現(株)ブックウォーカー〕<br>代表取締役会長<br>2012年 6 月 (株)角川グループホールディングス専務取締役<br>2013年 4 月 同社代表取締役専務エンターテインメント・コンテ<br>ンツクリエイション事業統括本部長<br>2017年 4 月 (株)KADOKAWA代表取締役 専務執行役員<br>2018年 4 月 (株)角川アーキテクチャ代表取締役社長（現任）<br>2019年 4 月 (株)KADOKAWA代表取締役 副社長執行役員（現任） | 33,943株           |
| <p>〔取締役候補者とした理由〕</p> <p>井上伸一郎氏は、当社子会社である(株)KADOKAWAの代表取締役 副社長執行役員に就任しております。そのほか、同社の子会社の取締役を歴任し、同社及びその子会社に精通しております。同氏の(株)KADOKAWA及び子会社の経営における経営者としての豊富な経験と高い見識が、当社取締役としての職務の適切な遂行に資するものと判断し、取締役として選任をお願いするものであります。</p> |                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                   |

| 候補者<br>番 号                                                                                                                                                                                                                     | 氏 名<br>(生年月日)                            | 略 歴、地 位、担 当 及 び 重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 所有する当社<br>株 式 の 数 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 4                                                                                                                                                                                                                              | せ き や こう い ち<br>関 谷 幸 一<br>(1960年2月14日生) | <p>1993年 3 月 (株)角川書店〔現(株)KADOKAWA〕入社<br/> 2002年 7 月 (株)角川ブックサービス取締役<br/> 2004年 7 月 同社常務取締役<br/> 2005年 3 月 同社代表取締役社長<br/> 2007年 1 月 (株)角川グループパブリッシング代表取締役専務<br/> 2007年 3 月 同社代表取締役社長<br/> 2009年 6 月 (株)角川グループホールディングス〔現(株)KADOKAWA〕取締役<br/> <br/> 2013年 3 月 (株)角川ブックナビ代表取締役社長<br/> 2013年 4 月 (株)角川グループホールディングス常務取締役セールスマーケティング統括本部長<br/> <br/> 2015年 4 月 (株)KADOKAWA取締役 専務執行役員<br/> 2016年 4 月 (株)角川アップリンク代表取締役社長（現任）<br/> 2016年 5 月 (株)ところざわサクラタウン代表取締役社長<br/> 2019年 4 月 (株)KADOKAWA取締役 専務執行役員プロダクトマーケティング本部長（現任）</p> | 22,783株           |
| <p>〔取締役候補者とした理由〕<br/> 関谷幸一氏は、当社子会社である(株)KADOKAWAの取締役 専務執行役員プロダクトマーケティング本部長に就任しております。そのほか、同社の子会社の取締役を歴任し、同社及びその子会社に精通しております。同氏の(株)KADOKAWA及び子会社の経営における経営者としての豊富な経験と高い見識が、当社取締役としての職務の適切な遂行に資するものと判断し、取締役として選任をお願いするものであります。</p> |                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                   |

招 集 ご 通 知

事 業 報 告

計 算 書 類 等

監 査 報 告 書

株 主 総 会 参 考 書 類

| 候補者<br>番 号                                                                                                                                                                                                                      | 氏 名<br>(生年月日)                         | 略 歴、地 位、担 当 及 び 重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 所有する当社<br>株 式 の 数 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 5                                                                                                                                                                                                                               | よしはら としゆき<br>芳 原 世 幸<br>(1957年12月4日生) | 1980年 4 月 (株)日本リクルートセンター〔現(株)リクルートホールディングス〕入社<br>1999年 6 月 (株)メディアファクトリー取締役<br>2001年 1 月 同社代表取締役社長<br>2013年 4 月 (株)角川グループホールディングス〔現(株)KADOKAWA〕エンターテインメント・コンテンツクリエイション事業統括本部副統括本部長<br>2013年 6 月 同社取締役エンターテインメント・コンテンツクリエイション事業統括本部副統括本部長<br>2015年 6 月 同社取締役 専務執行役員<br>2017年 6 月 (株)角川アスキー総合研究所代表取締役社長（現任）<br>2018年 1 月 当社執行役員<br>2018年 6 月 当社取締役（現任）<br>2019年 4 月 (株)KADOKAWA取締役 専務執行役員IPEX事業本部長（現任） | 11,603株           |
| [取締役候補者とした理由]<br>芳原世幸氏は当社取締役に就任しております。また、当社子会社である(株)KADOKAWAの取締役 専務執行役員IPEX事業本部長に就任しております。そのほか、同社子会社の取締役に歴任し、同社及びその子会社に精通しております。同氏の(株)KADOKAWA及び子会社の経営における経営者としての豊富な経験と高い見識が、当社取締役としての職務の適切な遂行に資するものと判断し、取締役として選任をお願いするものであります。 |                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                   |
| 6                                                                                                                                                                                                                               | やすもと よういち<br>安 本 洋 一<br>(1964年5月11日生) | 1992年 7 月 (株)ザテレビジョン入社<br>2006年 6 月 (株)角川ザテレビジョン取締役<br>2008年 6 月 (株)角川モバイル〔現(株)ブックウォーカー〕常務取締役<br>2013年 4 月 同社代表取締役社長（現任）<br>2016年 4 月 (株)KADOKAWA執行役員<br>2016年 4 月 (株)角川アップリンク取締役（現任）<br>2017年 7 月 台湾漫讀股份有限公司董事長（現任）<br>2019年 4 月 (株)KADOKAWA常務執行役員DX戦略本部長（現任）                                                                                                                                       | 9,368株            |
| [取締役候補者とした理由]<br>安本洋一氏は、当社子会社である(株)KADOKAWAの常務執行役員DX戦略本部長に就任しております。そのほか、同社子会社の取締役に歴任し、同社及びその子会社に精通しております。同氏の(株)KADOKAWA及び子会社の経営における経営者としての豊富な経験と高い見識が、当社取締役としての職務の適切な遂行に資するものと判断し、取締役として選任をお願いするものであります。                        |                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                   |

| 候補者<br>番 号                                                                                                                                                                  | 氏 名<br>(生年月日)                     | 略 歴、地 位、担 当 及 び 重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 所有する当社<br>株 式 の 数 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 7                                                                                                                                                                           | かわかみのぶ<br>川 上 量 生<br>(1968年9月6日生) | 1991年 4 月 (株)ソフトウェアジャパン入社<br>1997年 8 月 (株)ドワンゴ代表取締役社長<br>2000年 9 月 同社代表取締役会長<br>2006年 6 月 エイベックス・グループ・ホールディングス(株)取締役<br>2011年 6 月 (株)角川グループホールディングス [現(株)KADOKAWA] 取<br>締役<br>2013年 6 月 (株)カラー取締役 (現任)<br>2014年 6 月 (株)ブックウォーカー取締役 (現任)<br>2014年 6 月 (株)角川アスキー総合研究所取締役 (現任)<br>2014年10月 当社代表取締役会長<br>2015年 6 月 当社代表取締役社長<br>2016年10月 (株)テクテック取締役<br>2017年 7 月 (株)Gzブレイン取締役 (現任)<br>2017年12月 (株)ドワンゴ取締役C T O<br>2018年 2 月 (株)バカー取締役(現任)<br>2019年 2 月 当社取締役 (現任) | 5,687,400株        |
| [取締役候補者とした理由]<br>川上量生氏は当社取締役に就任しております。また、当社子会社である(株)ドワンゴを設立し、同社の代<br>表取締役会長を長年務め、現在は同社顧問に就任しております。同氏の豊富な経験と高い見識が、当社<br>取締役としての職務の適切な遂行に資するものと判断し、取締役として選任をお願いするものでありま<br>す。 |                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                   |

招 集 ご 通 知

事 業 報 告

計 算 書 類 等

監 査 報 告 書

株 主 総 会 参 考 書 類

| 候補者<br>番 号                                                                                                                                                                             | 氏 名<br>(生年月日)                       | 略 歴、地 位、担 当 及 び 重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 所有する当社<br>株 式 の 数 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 8                                                                                                                                                                                      | な つ の たけし<br>夏 野 剛<br>(1965年3月17日生) | 1988年 4 月 (株)東京ガス入社<br>1990年 6 月 (株)ハイパーネット取締役副社長<br>1997年 9 月 エヌ・ティ・ティ移動通信網(株)〔現(株)NTTドコモ〕<br>入社<br>2005年 6 月 同社執行役員マルチメディアサービス部長<br>2008年 5 月 慶應義塾大学政策メディア研究科特別招聘教授(現<br>任)<br>2008年 6 月 セガサミーホールディングス(株)取締役(現任)<br>2008年 6 月 トランス・コスモス(株)取締役(現任)<br>2008年12月 (株)ドワンゴ取締役<br>2009年 6 月 (株)ディー・エル・イー取締役(現任)<br>2009年 9 月 グリー(株)取締役(現任)<br>2010年12月 (株)U-NEXT〔現(株)USEN-NEXT HOLDINGS〕取締役<br>(現任)<br>2014年10月 当社取締役<br>2016年 8 月 日本オラクル(株)取締役(現任)<br>2017年 6 月 (株)AWSホールディングス〔現(株)Ubi comホールディ<br>ングス〕取締役(現任)<br>2017年 6 月 (株)海外需要開拓支援機構取締役(現任)<br>2018年 6 月 (株)ムービーウォーカー代表取締役会長(現任)<br>2018年10月 (株)ブックウォーカー取締役(現任)<br>2018年10月 (株)KADOKAWA取締役(現任)<br>2019年 2 月 (株)ドワンゴ代表取締役社長(現任) | 70,400株           |
| [取締役候補者とした理由]<br>夏野剛氏は、当社子会社である(株)ドワンゴの代表取締役社長に就任しております。そのほか、当社子会<br>社の(株)KADOKAWAを含め、多くの会社の役員を歴任しており、同氏の経営者としての豊富な経験と<br>高い見識が、当社取締役としての職務の適切な遂行に資するものと判断し、取締役として選任をお願い<br>するものであります。 |                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                   |

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                                                                            | 氏 名<br>(生年月日)                     | 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 所有する当社<br>株式の数 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 9                                                                                                                                                                                                                                    | ふなつ こうじ<br>船津 康次<br>(1952年3月18日生) | 1981年4月 ㈱日本リクルートセンター〔現㈱リクルートホールディングス〕入社<br>1998年4月 トランス・コスモス㈱入社<br>1998年6月 同社常務取締役<br>1999年6月 同社専務取締役<br>1999年12月 ㈱角川インタラクティブ・メディア取締役<br>2000年4月 トランス・コスモス㈱代表取締役副社長<br>2002年9月 同社代表取締役社長兼CEO<br>2003年6月 同社代表取締役会長兼CEO（現任）<br>2005年6月 ㈱ウォーカープラス監査役<br>2005年11月 ㈱キャラアニ監査役<br>2006年6月 ㈱角川クロスメディア取締役<br>2006年6月 ㈱角川ザテレビジョン取締役<br>2008年6月 ㈱角川マーケティング取締役<br>2009年6月 ㈱角川グループホールディングス〔現㈱KADOKAWA〕取<br>締役<br>2014年10月 当社取締役（現任） | 0株             |
| [社外取締役候補者とした理由]<br>船津康次氏は当社社外取締役に就任しております。IT分野における専門的な技術や、企業経営者としての豊富な経験と高い見識を経営に活かしていただくことを期待して、社外取締役として選任をお願いするものであります。なお、同氏の当社の社外取締役としての在任期間は本総会終結の時をもって約4年9ヶ月となります。また、同氏は過去、当社子会社である㈱KADOKAWA及びその子会社の社外役員に就任しておりました。             |                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                |
| 10                                                                                                                                                                                                                                   | ほしの こうじ<br>星野 康二<br>(1956年5月7日生)  | 1983年1月 米国アームストロング社入社<br>1990年1月 ウォルト・ディズニー・ジャパン㈱入社<br>1993年2月 ディズニー・ホーム・ビデオ・ジャパンホームビデオ部門代表<br>1995年1月 米国ウォルト・ディズニー社副社長<br>1998年1月 同社上級副社長<br>2000年1月 同社執行副社長<br>2000年1月 ウォルト・ディズニー・ジャパン㈱代表取締役社長<br>2007年6月 同社会長<br>2008年1月 ㈱スタジオジブリ代表取締役社長<br>2013年1月 ㈱ドワンゴ取締役<br>2014年10月 当社取締役（現任）<br>2017年11月 ㈱スタジオジブリ代表取締役会長（現任）                                                                                                  | 0株             |
| [社外取締役候補者とした理由]<br>星野康二氏は当社社外取締役に就任しております。エンタテインメント関連コンテンツの開発・制作及び配給分野における幅広い知見や、企業経営者としての豊富な経験と高い見識を経営に活かしていただくことを期待して、社外取締役として選任をお願いするものであります。なお、同氏の当社の社外取締役としての在任期間は本総会終結の時をもって約4年9ヶ月となります。また、同氏は過去、当社子会社である㈱ドワンゴの社外役員に就任しておりました。 |                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                |

招集ご通知

事業報告

計算書類等

監査報告書

株主総会参考書類

| 候補者<br>番号                                                                                                                                         | 氏 名<br>(生年月日)                      | 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 所有する当社<br>株式の数 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 11                                                                                                                                                | もりいずみ<br>森 泉<br>(1948年1月3日生)       | 1970年4月 住友商事㈱入社<br>1995年1月 米国住友商事会社Phoenixcor Inc.会長<br>1996年10月 ジュピターショップチャンネル㈱代表取締役社長<br>2000年2月 ㈱ジュピター・プログラミング代表取締役社長<br>2000年2月 ジュピターサテライト放送㈱代表取締役社長<br>2000年4月 住友商事㈱理事<br>2003年3月 ㈱ジュピターテレコム代表取締役社長兼最高経営責任者<br>2011年3月 住友商事㈱顧問<br>2011年6月 ㈱角川グループホールディングス〔現㈱KADOKAWA〕取締役（現任）                                                          | 0株             |
| [社外取締役候補者とした理由]<br>森泉知行氏は、ケーブルテレビ事業を始めとする企業経営者としての豊富な経験と高い見識を活かしていただくことを期待して、社外取締役として選任をお願いするものであります。<br>また、同氏は当社子会社である㈱KADOKAWAの社外取締役に就任しております。  |                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                |
| 12                                                                                                                                                | たかす たけお<br>高 須 武 男<br>(1945年5月9日生) | 1968年4月 ㈱三和銀行〔現㈱三菱UFJ銀行〕入行<br>1996年4月 ㈱バンダイ入社<br>1996年6月 BANDAI HOLDINGS CORP.代表取締役社長<br>1997年6月 ㈱バンダイ常務取締役<br>1999年3月 同社代表取締役社長<br>2005年6月 同社代表取締役会長<br>2005年9月 ㈱バンダイナムコホールディングス代表取締役社長<br>2009年4月 同社代表取締役会長<br>2012年6月 同社相談役<br>2013年3月 ㈱ベルパーク取締役（現任）<br>2013年6月 ㈱KADOKAWA取締役（現任）<br>2013年11月 ㈱海外需要開拓支援機構取締役（現任）<br>2014年6月 HOYA㈱取締役（現任） | 0株             |
| [社外取締役候補者とした理由]<br>高須武男氏は、エンタテインメント事業に精通した企業経営者としての豊富な経験と高い見識を活かしていただくことを期待して、社外取締役として選任をお願いするものであります。<br>また、同氏は当社子会社である㈱KADOKAWAの社外取締役に就任しております。 |                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                |

- (注) 1. 取締役候補者のうち、井上伸一郎氏、関谷幸一氏、安本洋一氏、夏野剛氏、森泉知行氏及び高須武男氏の6名は新任、他の6名はいずれも重任となります。
2. 取締役候補者のうち、船津康次氏、星野康二氏、森泉知行氏及び高須武男氏は、会社法施行規則第2条第3項第7号に定める社外取締役候補者であります。
- なお、高須武男氏がHOYA㈱の社外取締役として在任中でありました2016年5月に、同社が同年2月に決議し実施した自己株式取得のうち一部が会社法及び会社計算規則に基づき算定される分配可能額を超過していたことが判明しました。同社において期末の欠損は生じておらず第三者の利益の損害は発生しておりませんが、同社は直ちに第三者委員会を設置し原因究明ならびに再発防止策の作成を行いました。同氏は第三者委員会の提言ならびに執行部門からの提案による再発防止に向けた取り組みに対して適宜提言を行い、実施状況をモニターするなど、その職責を果たされました。

3. 取締役候補者のうち、船津康次氏、星野康二氏、森泉知行氏及び高須武男氏は、㈱東京証券取引所が一般株主保護のため指定を義務付けている独立役員の候補者であります。なお当社では、独立役員の指定に際し、その独立性の基準として、㈱東京証券取引所が定める独立性基準に加えて当社との取引等において金額等の基準を以下のように定めております。
- (双方において主要な取引先でないこと)
- 当社及び該当の取締役候補者が就任している会社間の取引額が、双方の会社において、その売上高の10%未満であること
- (取引はないが双方において一定額以上の寄付や助成を得ていないこと)
- 過去3年間平均で、年額1,000万円未満であること
- (役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサル、会計専門家又は法律専門家でないこと)
- 現在及び過去3年間において下記に該当していないこと
- ① 当社グループの会計監査人や会計参与（法人であるときは、その職務を行うべき社員）
- ② 個人の場合、受け取っている報酬額が年額1,000万円以上
- ③ 法人の場合、過去3年間の平均報酬額が当該法人の総売上上の2%以上
4. 当社と取締役候補者の間に特別な利害関係はございません。
5. 当社は、社外取締役候補者船津康次氏及び星野康二氏との間で、会社法第427条第1項に基づく損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令の定める最低責任限度額としており、船津康次氏及び星野康二氏の再任が承認された場合は、両氏との間で当該契約を継続する予定であります。
- また、社外取締役候補者森泉知行氏及び高須武男氏が選任された場合は、同様の契約を締結する予定であります。

### 第3号議案 監査役1名選任の件

当社が純粋持株会社から事業持株会社へ移行することに伴い、監査体制の強化を図るために、監査役1名を増員すべく、新たに1名の選任をお願いするものであります。

本議案につきましては、予め監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は次のとおりであります。

| 氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                                                     | 略 歴 、 地 位 及 び 重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                                   | 所有する当社<br>株 式 の 数 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| わたなべ あきら<br>渡 辺 彰<br>(1959年7月1日生)                                                                                                                                 | 1993年3月 ㈱角川書店〔現㈱KADOKAWA〕入社<br>1993年11月 税理士登録<br>2010年6月 ㈱角川書店取締役<br>2013年6月 ㈱KADOKAWA取締役<br>2015年4月 同社執行役員（現任） | 12,990株           |
| 【監査役候補者とした理由】<br>渡辺彰氏は、税理士として税務及び会計に関する高い専門性を有しております。また当社子会社である㈱KADOKAWAの執行役員に就任しており、同社に精通しております。同氏の豊富な経験と高い見識が当社監査役としての職務の適切な遂行に資するものと判断し、監査役として選任をお願いするものであります。 |                                                                                                                 |                   |

(注) 当社と監査役候補者の間に特別な利害関係はございません。

### 第4号議案 監査役の報酬等の額の改定の件

当社の監査役の報酬等の額については、2015年6月23日開催の第1期定時株主総会において、年額5千万円以内とご承認いただき、今日に至っております。

当社が純粋持株会社から事業持株会社に移行すること、及びコーポレートガバナンスの一層の強化に伴い増大する監査役の役割等を考慮いたしまして、監査役報酬等の額を年額7千万円以内とすることをお願いするものであります。

なお、現在の当社の監査役の員数は3名でございますが、第3号議案が原案通り承認可決され、新たに監査役1名が就任いたしますと、員数は4名となります。

以 上

## インターネット等による議決権行使のご案内

インターネット等により議決権を行使される場合は、あらかじめ次の事項をご了承いただきますよう、お願い申し上げます。

1. 議決権行使ウェブサイトについて  
インターネットによる議決権行使は、当社の指定する以下の議決権行使ウェブサイトをご利用いただくことによつてのみ可能です。  
議決権行使ウェブサイトアドレス <https://www.web54.net>
2. 議決権行使のお取扱い等について
  - (1) インターネットにより議決権を行使される場合は、同封の議決権行使書用紙に記載された「議決権行使コード」及び「パスワード」をご利用になり、画面の案内に従つて賛否をご入力ください。
  - (2) スマートフォンをご利用の方は、同封の議決権行使書用紙に記載された「スマートフォン用議決権行使ウェブサイトログインQRコード」を読み取りいただくことにより、「議決権行使コード」及び「パスワード」が入力不要のスマートフォン用議決権行使ウェブサイトから議決権を行使できます。  
なお、QRコード読み取りによるログインでの議決権行使は、一回のみ可能です。一度議決権を行使した後で行使内容を変更される場合には、再度QRコードを読み取り、議決権行使書用紙に記載の「議決権行使コード」及び「パスワード」を入力いただく必要があります。
  - (3) 議決権の行使期限は、2019年6月19日（水曜日）午後6時30分までとなっておりますので、お早目の行使をお願いいたします。
  - (4) 書面とインターネット等により、重複して議決権を行使された場合は、インターネット等による議決権行使の内容を有効として取り扱わせていただきます。また、インターネット等により複数回にわたり議決権を行使された場合は、最後に行使された内容を有効とさせていただきます。
  - (5) 議決権行使ウェブサイトをご利用いただく際のプロバイダ及び通信事業者の料金（接続料金等）は、株主様のご負担となります。
3. パスワード及び議決権行使コードのお取扱いについて
  - (1) パスワードは、ご投票される方が株主様ご本人であることを確認するための重要な情報です。印鑑や暗証番号同様、大切にお取扱いください。
  - (2) パスワードは一定回数以上間違えると使用できなくなります。パスワードの再発行をご希望の場合は、画面の案内に従つてお手続きください。
  - (3) 議決権行使書用紙に記載されている議決権行使コードは、本総会に限り有効です。
4. パソコン等の操作方法に関するお問い合わせ先について
  - (1) 本サイトでの議決権行使に関するパソコン等の操作方法がご不明な場合は、以下にお問い合わせください。  
三井住友信託銀行 証券代行ウェブサポート 専用ダイヤル  
【電話】 0120 (652) 031 （受付時間 9：00～21：00）
  - (2) その他のご照会は、以下のお問い合わせ先をお願いいたします。  
ア. 証券会社に口座をお持ちの株主様  
証券会社に口座をお持ちの株主様は、お取引の証券会社あてお問い合わせください。  
イ. 証券会社に口座のない株主様（特別口座をお持ちの株主様）  
三井住友信託銀行 証券代行事務センター  
【電話】 0120 (782) 031 （受付時間 9：00～17：00 土日休日を除く）

以上

メ モ

Handwriting practice lines consisting of 18 horizontal dashed lines.

メ モ

Handwriting practice lines consisting of 18 horizontal dashed lines.

## 株主総会会場ご案内図

会 場 東京都文京区関口二丁目10番8号  
ホテル椿山荘東京 バンケット棟（プラザ棟）5階  
「グランドホール椿（オリオン）」  
電話 (03) 3943-1111



地下鉄 有楽町線「江戸川橋」駅下車 1a出口 徒歩10分  
JR・バス JR山手線「目白」駅前の横断歩道を渡り、左手のバス停  
「目白駅前」より都バス新宿駅西口行き、又は右手の「川  
村学園前」より椿山荘行き・新宿駅西口行きにて「ホテル  
椿山荘東京前」下車。（所要時間10分）



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。